

# 本郷・小石川

(東京都)

## 戦火を生き抜いた 東京の巨樹たち

本郷・小石川界隈をぶらり歩き



本郷・小石川界隈は、台地と低地が複雑に入り組んだ地形をしており、多くの坂道や斜面緑地、湧水を利用した緑豊かな庭園が点在する魅力ある地域です。

明治以降、台地にあった広大な武家屋敷は、大学や公園用地、公共用地などとして活用され、多くの学校が区内に設立されました。

太平洋戦争では、数回の空襲により文京区内の大半が焼け野原となりましたが、根津、弥生、西片、本郷にかけての一角は戦災を免れました。数多くの文人たちのゆかりの地でもあります。

関東大震災、東京大空襲から生き残り、再開発での伐採をまぬがれ、ときにビルの合間に生きる巨樹をめぐって、文人たちが愛した本郷・小石川界隈をぶらり歩きするコースを紹介します。



秋の東京大学本郷キャンパスのイチョウ並木

【アクセス】

・電車：東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」1番出口からスタート

### 1 平和をかみしめる貴重な古木 光圓寺のイチョウ

戦前は日本一の太銀杏とされていましたが、東京大空襲で上部が焼失し、幹の内部も空洞化して指定から外れました。現在は、焼けて炭化しながらも、ひこばえを伸ばし、青々とした葉をつけています。子どもたちの元気な声があふれる幼稚園の園庭のなかにあり、平和な毎日を過ごす大切さに思いをめぐられます。



【幹周り】740cm 【樹高】6m  
【樹齢】伝承1000年  
【所在地】文京区小石川4-12-8 光圓寺(明照幼稚園)内  
\*平日は幼稚園が開園しているため、見学はご遠慮ください。  
土日のみ巨樹見学可能。

### 4 ビルのすぐ横にのびのびと 本郷弓町のクス

ビルのすぐ横に生育していますが、驚くほど大きなのびのびと育っています。このあたりは、元は「弓町」という町名であったことから、このクスは町名を引いて「本郷弓町のクスノキ」と呼ばれてきました。



【幹周り】850cm(地上約1.5m) 【樹高】20m  
【樹齢】推定600年【保護指定】文京区保護樹木  
【所在地】文京区本郷1-28-32

### 2 江戸時代から地域を見守る 善光寺坂のムクノキ

東京大空襲によって上部が焼けて、昭和30年代に3分の2ほど幹が伐採されましたが、現在も生育状態は良好です。

日本の近代文学を代表する作家である幸田露伴は1927年に当地に居を構え、疎開するまで住んでいました。戦後は露伴の娘、幸田文の住居であり、露伴の孫にあたる青木玉が「棕の木」というエッセイでムクノキの思い出を語っています。



【幹周り】500cm 【樹高】13m 【樹齢】推定400年  
【保護指定】文京区指定天然記念物  
【所在地】文京区小石川3-18(ポケットパーク内)

### 5 近代学問発祥の地で会える被災樹木 湯島聖堂の楷の木

枝や葉が整然としており、楷書の語源とも言われています。1915年に白澤保美博士が中国の孔子の墓所から種を採取して持ち帰り、湯島聖堂など儒教にゆかりのある学校に苗を寄贈しました。

他に神農廟の前に震災による大火で被災した十数本のイチョウがあり、毎年開催される神農祭のときだけ、その一部炭化した姿で力強く生きる様子を見ることが出来ます。



【幹周り】220cm 【樹高】14m 【樹齢】不明  
【所在地】文京区湯島1-4-25  
※カキノキは別名ランシンボク

### 3 東京大学本郷キャンパスの巨樹たち 赤門前のスダジイ

東京大学本郷キャンパスは、イチョウ、ケヤキ、クスノキが多く植樹されていますが、かつての本郷台地は、常緑樹のシイノキ林だったと推定されています。有名な赤門の両横に鎮座しているスダジイはとくに絵になる風景です。他にも構内には安田講堂前のクスノキ(幹周399cm)、東大工学部一号館前のイチョウ(幹周497cm)をはじめとした巨樹が見られます。



【幹周り】不明 【樹高】11m 【樹齢】90年以上  
【所在地】文京区本郷7-3-1  
\*本郷キャンパスの立ち入りは新型コロナウイルス感染症予防のために制限される可能性があります

#### 【巨樹・巨木林調査とは？】

環境省では、地上130cmの幹周りが300cm以上の木を対象に、自然環境保全基礎調査の一環として、昭和63(1988)年から「巨樹・巨木林調査」を実施しています。

巨樹・巨木林の情報は「巨樹・巨木林データベース」ウェブサイトをご覧ください。  
<https://kyoju.biodic.go.jp/>



#### 【全国巨樹・巨木林の会】

巨樹・巨木林にご関心のある方は、「全国巨樹・巨木林の会」にアクセス！巨樹・巨木林の観察会、機関誌「巨樹・巨木林」の発行、「巨木を語る全国フォーラム」の開催など、巨樹・巨木林に関する活動を行っています。

<http://www.kyoju.com/>





巨樹・巨木林観察コースガイド

# 本郷・小石川

(東京都)

## 戦火を生き抜いた 東京の巨樹たち

本郷・小石川界隈をぶらり歩き



- 1 光圓寺のイチョウ  
徒歩 10 分程度 (650m)
- 2 善光寺坂のムクノキ  
徒歩 25 分程度 (1.5km)
- 3 赤門前のスダジイ  
徒歩 12 分程度 (750m)
- 4 本郷弓町のクス  
徒歩 20 分程度 (1.2km)
- 5 湯島聖堂の楷の木

1 平和をかみしめる貴重な古木  
こうえん  
**光圓寺のイチョウ**  
[幹周り] 740cm [樹高] 6m [樹齢] 伝承1000年  
[所在地] 文京区小石川 4-12-8  
光圓寺(明照幼稚園)内  
※平日は、幼稚園が開園しているため、見学はご遠慮ください。土日のみ巨樹見学可能。

2 江戸時代から地域を見守る  
**善光寺坂のムクノキ**  
[幹周り] 500cm  
[樹高] 13m  
[樹齢] 推定 400年  
[所在地] 文京区小石川 3-18  
(ポケットパーク内)

3 東京大学本郷キャンパスの  
巨樹たち  
**赤門前のスダジイ**  
[幹周り] 不明  
[樹高] 11m  
[樹齢] 90年以上  
[所在地] 文京区本郷 7-3-1

5 近代学問発祥の地で会える  
被災樹木  
**湯島聖堂の楷の木**  
[幹周り] 220cm  
[樹高] 14m  
[樹齢] 不明  
[所在地] 文京区湯島 1-4-25

4 ビルのすぐ横にのびのびと  
ほんごうゆみちよう  
**本郷弓町のクス**  
[幹周り] 850cm  
[樹高] 約 20m  
[樹齢] 推定 600年  
[所在地] 文京区本郷 1-28-32

【ぶらり歩きにおすすめの公園】

せんしゆんえん  
**占春園**  
地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅の北東、徒歩 5 分。駅からほんの数分のところに、こんな気持ちのよい緑地が残っているのかと驚きのある場所です。  
中島のある池のまわりにはイチョウなどの大木が生い茂り、静かな雰囲気や漂わせています。小さな看板には「作家の幸田文さんが小鳥の好きな実のなる木を植えているので、大事にしてくださいね」とあり、小鳥の声を聴きながらほっこりできる都会の癒し空間です。  
[所在地] 文京区大塚 3-29



西の横綱\*1 光圓寺のイチョウ  
東の横綱\*2 本郷弓町のクスノキ

戦前の巨樹の姿  
見てみよう  
\*1「東京市史蹟名勝天然記念物写真帖・第一輯」(1922年発行)  
\*2「東京市史蹟名勝天然記念物写真帖・第二輯」(1923年発行)  
[[ぶんきょうの樹木-いま・むかし-] 展示図録] より 画像提供 / 文京ふるさと歴史館